コロナウイルス感染症対策について

　　～高体連からの代替大会開催にあたっての安全対策ガイドラインより抜粋～

◯大会中の具体的な感染防止対策

　（１）基本的な感染症対策

　　ア、競技会場において、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底する。

　　　　　➡来場者は全員　マスクを着用する（選手も競技や練習中以外はマスク着用）

　　イ、会場出入口に準備している消毒薬や、トイレの石鹸を使用し、適宜手洗いや消毒

をする。

　　ウ、主に参加者の手が触れる場所を消毒用アルコール等で拭き取る。

　　　　　➡選手の使用する手具や音響機器などの消毒は、各校で準備し行なう。

　　エ、密閉空間を避けるため、競技場内の対角にある扉を開放しておく。

　　　　　➡空調により温度管理するが、各自で熱中症にも注意する。

　　オ、密集場所を避ける。

　　　　　➡観覧席には１つ置きに座ってもらう。椅子に貼り紙をする。

選手が密にならないように、選手席を指定する。

更衣室の利用は短時間にさせ、一斉に利用しないよう指導する。

　　カ、密接場面を避ける。握手やハイタッチなどの身体接触を避け、近距離での会話や

発声はしないようにさせる。➡応援は拍手のみで行なう。

　キ、引率者は、大会前に選手の健康状況（検温状況含む）を確認し、体調不良の選手

がいた場合には、ガイドラインに決められた対応をする。

　　ク、競技中の水分補給に関しては、チーム共用を避け、個人のものを使用する。

　　ケ、共有物の適正な管理または、消毒の徹底をする。

　　コ、原則として入場制限（無観客試合）を行うが、新体操女子は観客数が少ないため、

　　　　　➡参加者１名につき保護者３人までとする。ただし来場者の名簿作成し、下記

の「ス」に対応できるようにしておく。また、体調の悪い方の入場制限する

ものとする。

➡会場内への出入りは試合当日に出場する選手及びその保護者、マネージャー、

　顧問、引率者、役員、審判のみとし、成績発表後、生徒はすみやかに退出し

帰宅させる。

サ、開閉会式は行わない。

シ、バスや公共交通機関を使用して移動する際は、必ずマスクを着用するとともに、

可能な限り換気に努めること。また、密集空間を避けるため、会場への移動はバ

スの台数を増やす等の対応を検討すること。

ス、大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡を

とり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を

確保する。

セ、大会に参加した個人は保健所などの聞き取りに協力し、また濃厚接触者となった

場合には、接触してから２週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

（２）当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

 ア、発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。

（各学校で指示しておくこと。）

 イ、当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校の管理職に連絡し帰宅させる。

ウ、体調不良の選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合には，その結果を県高体連に報告する。

エ、引率者は、他の選手等の健康観察を徹底する。

* その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従い、その経過等については、県高体連に報告すること。県教育委員会と協議の上、その後の大会運営について中止することがある。

参加各校の先生へ

１１月７日（土）、１１月８日（日）来館時に

「来場者名簿」（生徒・引率教員・外部指導者用）（保護者用）と

「来場者健康チェックシート」をご提出下さい。

提出先：本部（亀井）まで

※上記の提出がない方は入館できません。